

平成 30 年 度
(2018年度)

稲城市病院事業会計
決算審査意見書

稲城市監査委員

(写)
稲 監 第 413 号
令和元年 8 月 20 日

稲城市長 高 橋 勝 浩 様

稲城市監査委員 軍 司 信 一
稲城市監査委員 坂 田 たけふみ

平成 30 年度稲城市病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された平成30年度稲城市
病院事業会計決算について審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第1	審査の概要	
1	審査の対象	2
2	審査の実施期間	2
3	審査の手続	2
第2	審査の結果	2
第3	決算の概要	
1	経営状況	
(1)	経営成績	3
(2)	収益と費用	4
2	財政状態	
(1)	財政状態について	12
(2)	資産	12
(3)	負債	13
(4)	資本	15
3	資本的収入及び支出	
(1)	資本的収入及び支出について	16
(2)	資本的収入	16
(3)	資本的支出	16
第4	まとめ	17
別表		
別表1	病院事業比較損益計算書	19
別表2	病院事業比較貸借対照表	20
別表3	診療科別収益・患者数比較表	22
別表4	経営分析比較表	24

- * 小数点以下の表示は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- * 構成比は、合計が100.0となるよう一部調整した。
- * 対前年度増減率において、決算年度及び前年度の対象数値が0のときは、増減率を0.0と表示した。

平成30年度稲城市病院事業会計 決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成30年度稲城市病院事業会計決算

2 審査の実施期間

令和元年6月3日から令和元年8月19日まで

3 審査の手続

市長より審査に付された決算書類が病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計帳簿、証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続により実施した。

第2 審査の結果

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、平成30年度病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

第3 決算の概要

1 経営状況

(1) 経営成績

平成30年度の病院事業の経営成績は、別表1及び次表のとおりである。

(単位：円，%，％ポイント)

区分		30年度	29年度	対前年度	
				増減額等	増減率
総収益		7,151,344,595	7,090,858,165	60,486,430	0.9
医業収益	A	5,897,723,376	5,866,780,088	30,943,288	0.5
医業外収益	B	1,246,650,082	1,216,938,206	29,711,876	2.4
特別利益	C	6,971,137	7,139,871	△168,734	△2.4
総費用		7,076,844,867	7,104,232,297	△27,387,430	△0.4
医業費用	D	6,777,885,201	6,781,770,437	△3,885,236	△0.1
医業外費用	E	274,013,446	294,357,134	△20,343,688	△6.9
特別損失	F	24,946,220	28,104,726	△3,158,506	△11.2
医業収支 (A-D)	G	△880,161,825	△914,990,349	34,828,524	3.8
医業収支比率 (A/D×100)		87.0	86.5	0.5	—
経常収支 (G+B-E)	H	92,474,811	7,590,723	84,884,088	1,118.3
総収支 (当年度純利益又は純損失) (H+C-F)		74,499,728	△13,374,132	87,873,860	657.0

総収益は71億5,134万4,595円、総費用は70億7,684万4,867円で、差引7,449万9,728円の当年度純利益となっている。

前年度と比較すると、医業収益は3,094万3,288円(0.5%)増加し、医業費用は388万5,236円(0.1%)減少している。また、医業外収益は2,971万1,876円(2.4%)増加し、医業外費用は2,034万3,688円(6.9%)減少している。

特別利益は16万8,734円(2.4%)減少し、特別損失は315万8,506円(11.2%)減少している。

総収支(当年度純利益又は純損失)は8,787万3,860円(657.0%)改善している。

なお、経営分析に関する数値の推移については別表4のとおりである。

収支の推移は次のとおりである。

(単位：円)

区分		30年度	29年度	28年度
総収益	A	7,151,344,595	7,090,858,165	7,039,419,717
総費用	B	7,076,844,867	7,104,232,297	7,068,389,291
収支差引(A-B)	C	74,499,728	△ 13,374,132	△ 28,969,574
前年度繰越欠損金	D	△ 578,933,479	△ 565,559,347	△ 536,589,773
その他変動額	E	0	0	0
当年度未処理欠損金 (C+D+E)		△ 504,433,751	△ 578,933,479	△ 565,559,347

* 欠損金については、収支額との対比のため、マイナス表記としている。

(2) 収益と費用

ア 医業収益

医業収益の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

区分	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
医業収益	5,897,723,376	5,866,780,088	30,943,288	0.5
入院収益	3,570,870,087	3,550,901,254	19,968,833	0.6
外来収益	1,713,114,073	1,714,868,782	△ 1,754,709	△ 0.1
その他医業収益	613,739,216	601,010,052	12,729,164	2.1

医業収益は58億9,772万3,376円で、前年度と比較すると3,094万3,288円(0.5%)増加している。これは主に、入院収益が1,996万8,833円(0.6%)、その他医業収益が1,272万9,164円(2.1%)増加したためである。一方、外来収益が175万4,709円(0.1%)減少している。

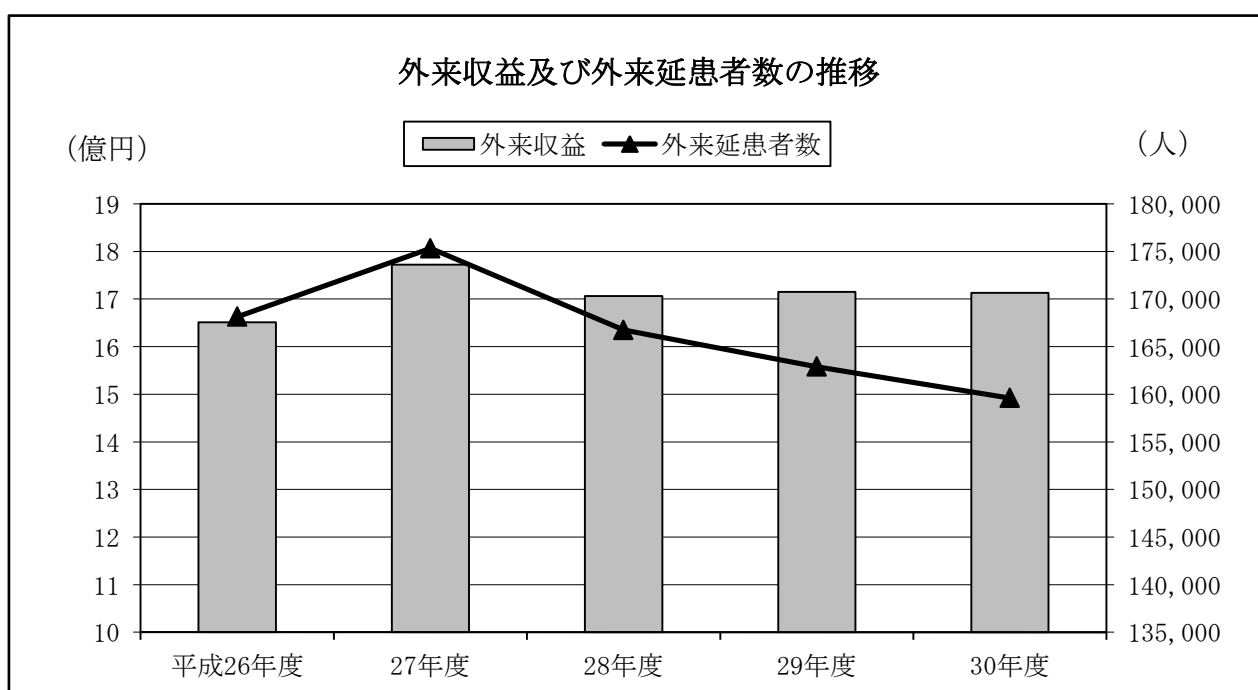
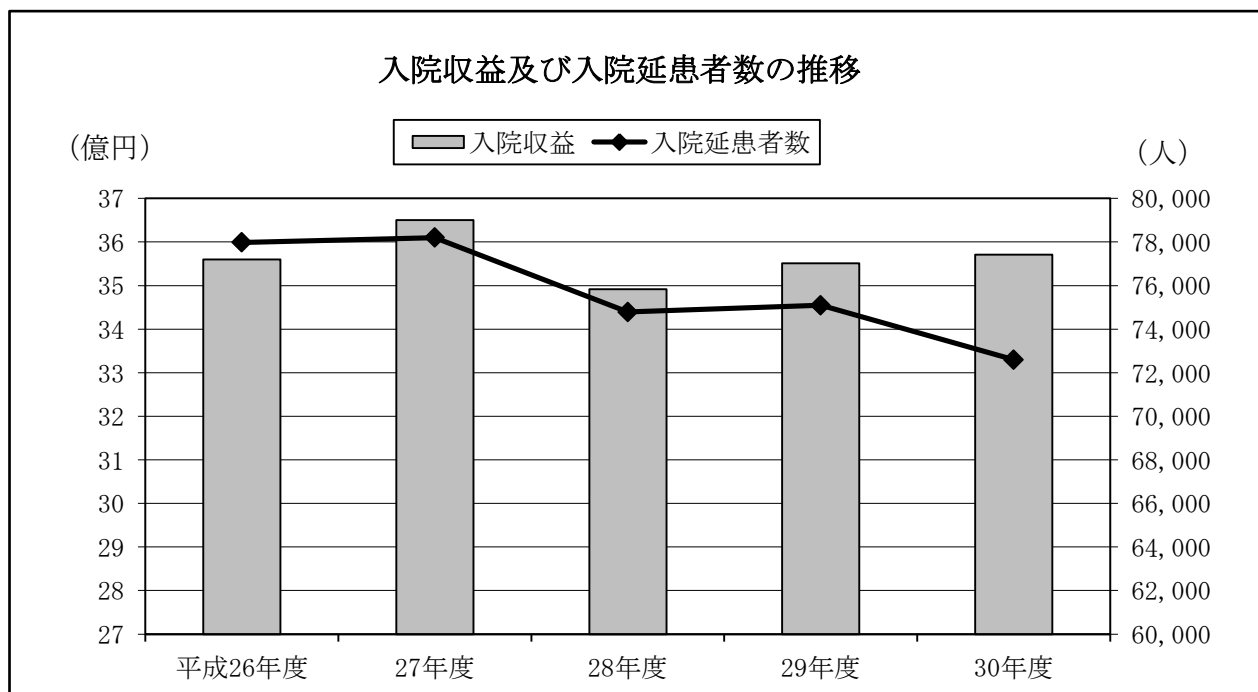
以下、入院・外来の収益及び患者数について比較していく。なお、診療科別の収益・患者数の比較については別表3のとおりである。

(ア) 入院・外来の収益及び患者数の推移

入院・外来の収益及び患者数の推移は次のとおりである。

(単位：円，人)

区分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
入院	収益	3,559,947,602	3,650,367,736	3,491,822,031	3,550,901,254	3,570,870,087
	延患者数	77,981	78,205	74,785	75,092	72,600
外来	収益	1,651,099,494	1,772,553,787	1,706,113,703	1,714,868,782	1,713,114,073
	延患者数	168,141	175,322	166,743	162,902	159,603



(イ) 入院

入院の収益及び患者数の推移は次のとおりである。

区分	単位	30年度	29年度	対前年度	
				増減額等	増減率
入院収益	A 円	3,570,870,087	3,550,901,254	19,968,833	0.6
延患者数	B 人	72,600	75,092	△ 2,492	△ 3.3
診療日数	C 日	365	365	—	—
患者1人1日当たり 診療収入 (A/B)	円	49,185.5	47,287.3	1,898.2	4.0
1日平均患者数 (B/C)	人	198.9	205.7	△ 6.8	△ 3.3

前年度と比較すると、入院延患者数は3.3%減少し、患者1人1日当たり診療収入は4.0%増加している。

診療科別入院延患者数の推移は次のとおりである。

(単位：人，%)

診療科	30年度		29年度		対前年度	
	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均	延患者数	
					増減数	増減率
内科	31,537	86.4	33,392	91.5	△ 1,855	△ 5.6
眼科	469	1.3	400	1.1	69	17.3
小児科	4,994	13.7	5,338	14.6	△ 344	△ 6.4
外科	10,760	29.5	10,963	30.0	△ 203	△ 1.9
整形外科	8,911	24.4	9,872	27.0	△ 961	△ 9.7
リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科	1,661	4.6	1,448	4.0	213	14.7
皮膚科	1,316	3.6	1,343	3.7	△ 27	△ 2.0
泌尿器科	3,799	10.4	3,377	9.3	422	12.5
産婦人科	8,045	22.0	7,837	21.5	208	2.7
脳神経外科	1,108	3.0	1,122	3.1	△ 14	△ 1.2
合計	72,600	198.9	75,092	205.7	△ 2,492	△ 3.3

診療科別入院延患者数を前年度と比較すると、増加したのは主に、泌尿器科が422人(12.5%)、耳鼻咽喉科が213人(14.7%)、産婦人科が208人(2.7%)である。一方、減少したのは主に、内科が1,855人(5.6%)、整形外科が961人(9.7%)、小児科が344人(6.4%)である。

(ウ) 外来

外来の収益及び患者数の推移は次のとおりである。

区分	単位	30年度	29年度	対前年度		
				増減額等	増減率	
外 来 収 益	A	円	1,713,114,073	1,714,868,782	△ 1,754,709	△ 0.1
延 患 者 数	B	人	159,603	162,902	△ 3,299	△ 2.0
診 療 日 数	C	日	244	244	—	—
患者1人1日当たり 診療収入 (A/B)		円	10,733.6	10,527.0	206.6	2.0
1日平均患者数 (B/C)		人	654.1	667.6	△ 13.5	△ 2.0

前年度と比較すると、外来延患者数は2.0%減少し、患者1人1日当たり診療収入は2.0%増加している。

診療科別外来延患者数の推移は次のとおりである。

(単位：人，%)

診療科	30年度		29年度		対前年度	
	延患者数	1日 平均	延患者数	1日 平均	延患者数	
					増減数	増減率
内 科	54,862	224.8	55,557	227.7	△ 695	△ 1.3
眼 科	7,425	30.4	6,948	28.5	477	6.9
小 児 科	10,483	43.0	10,311	42.3	172	1.7
外 科	10,774	44.2	10,725	44.0	49	0.5
整 形 外 科	17,075	70.0	19,482	79.8	△ 2,407	△ 12.4
リハビリテーション科	3,795	15.6	3,646	14.9	149	4.1
耳 鼻 咽 喉 科	12,237	50.2	12,121	49.7	116	1.0
皮 膚 科	10,814	44.3	11,426	46.8	△ 612	△ 5.4
泌 尿 器 科	13,713	56.2	13,656	56.0	57	0.4
産 婦 人 科	10,296	42.2	9,891	40.5	405	4.1
脳 神 経 外 科	2,779	11.4	3,242	13.3	△ 463	△ 14.3
放 射 線 科	2,348	9.6	2,556	10.5	△ 208	△ 8.1
精 神 科	695	2.7	596	2.4	99	16.6
坂 浜 診 療 所	2,307	9.5	2,745	11.3	△ 438	△ 16.0
合 計	159,603	654.1	162,902	667.6	△ 3,299	△ 2.0

診療科別外来延患者数を前年度と比較すると、減少したのは主に、整形外科が2,407人(12.4%)、内科が695人(1.3%)、皮膚科が612人(5.4%)である。一方、増加したのは主に、眼科が477人(6.9%)、産婦人科が405人(4.1%)である。

イ 医業費用

医業費用の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
医業費用	6,777,885,201	6,781,770,437	△ 3,885,236	△ 0.1
給与費	3,918,218,806	3,848,244,718	69,974,088	1.8
材料費	997,799,220	1,032,274,953	△ 34,475,733	△ 3.3
経費	1,418,363,577	1,350,212,146	68,151,431	5.0
減価償却費	424,900,010	533,719,397	△ 108,819,387	△ 20.4
資産減耗費	9,836,795	5,721,472	4,115,323	71.9
研究研修費	8,766,793	11,597,751	△ 2,830,958	△ 24.4

医業費用は67億7,788万5,201円で、前年度に対して388万5,236円(0.1%)減少している。これは主に、減価償却費が1億881万9,387円(20.4%)、材料費が3,447万5,733円(3.3%)減少したためである。一方、給与費が6,997万4,088円(1.8%)、経費が6,815万1,431円(5.0%)増加している。

以下、給与費と材料費について比較していくことにする。

(ア) 給与費

給与費の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
給与費	3,918,218,806	3,848,244,718	69,974,088	1.8
給料	1,218,083,965	1,191,150,013	26,933,952	2.3
手当	1,110,288,177	1,096,945,038	13,343,139	1.2
賃金	840,308,018	825,435,071	14,872,947	1.8
法定福利費	550,452,326	524,114,586	26,337,740	5.0
退職給与金	14,235,320	29,659,010	△ 15,423,690	△ 52.0
賞与引当金繰入額	184,851,000	180,941,000	3,910,000	2.2

給与費は39億1,821万8,806円で、前年度に対して6,997万4,088円(1.8%)増加している。これは主に、給料が2,693万3,952円(2.3%)、法定福利費が2,633万7,740円(5.0%)増加したためである。一方、退職給与金が1,542万3,690円(52.0%)減少している。

ここで、医業収益に対する給与費の割合を比較すると次のとおりである。

(単位：円，%，%ポイント)

区分		30年度	29年度	対前年度 増減額等
医業収益	A	5,897,723,376	5,866,780,088	30,943,288
給与費	B	3,918,218,806	3,848,244,718	69,974,088
医業収益に対する給与費 の割合 (B/A×100)		66.4	65.6	0.8

医業収益に対する給与費の割合は66.4%で、前年度に対して0.8ポイント上昇した。

年度末における職種別職員数の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：人)

区分	30年度		29年度		対前年度 増減数
医療職	297	(212)	292	(213)	5 (△1)
医師	48	(88)	47	(86)	1 (2)
看護師	182	(67)	179	(69)	3 (△2)
准看護師	3	(5)	3	(7)	0 (△2)
薬剤師	12	(8)	12	(7)	0 (1)
診療放射線技師	16	(10)	16	(8)	0 (2)
臨床工学技士	3	(3)	3	(3)	0 (0)
臨床検査技師	16	(22)	15	(24)	1 (△2)
理学療法士	6	(0)	6	(1)	0 (△1)
作業療法士	4	(0)	4	(0)	0 (0)
言語聴覚士	2	(2)	2	(1)	0 (1)
管理栄養士	2	(3)	2	(3)	0 (0)
診療情報管理士	2	(1)	2	(2)	0 (△1)
視能訓練士	1	(3)	1	(2)	0 (1)
行政職	26	(95)	24	(81)	2 (14)
看護補助員	0	(70)	0	(57)	0 (13)
事務職員	26	(24)	24	(23)	2 (1)
技術職員	0	(0)	0	(0)	0 (0)
その他作業員	0	(1)	0	(1)	0 (0)
合計	323	(307)	316	(294)	7 (13)

* () 内はパート職員で実人数とする。

(イ) 材料費

材料費の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
材料費	997,799,220	1,032,274,953	△ 34,475,733	△ 3.3
薬品費	538,873,529	563,279,869	△ 24,406,340	△ 4.3
診療材料費	398,420,070	410,082,134	△ 11,662,064	△ 2.8
給食材料費	55,799,691	56,456,014	△ 656,323	△ 1.2
医療消耗備品費	4,705,930	2,456,936	2,248,994	91.5

材料費は9億9,779万9,220円で、前年度に対して3,447万5,733円(3.3%)減少している。これは薬品費が2,440万6,340円(4.3%)、診療材料費が1,166万2,064円(2.8%)、給食材料費が65万6,323円(1.2%)減少し、医療消耗備品費が224万8,994円(91.5%)増加したためである。

ウ 入院・外来患者の1人当たり収益・費用の比較

入院・外来患者の1人当たり収益・費用を比較すると次のとおりである。

(単位：円，%)

区分		30年度	29年度	対前年度	
				増減額	増減率
医業収益／延患者数	A	25,399	24,651	748	3.0
入院外来収益／延患者数	B	22,756	22,126	630	2.8
医業費用／延患者数	C	29,189	28,496	693	2.4
単位利益	医業全体 (A-C)	△ 3,790	△ 3,845	—	—
	入院外来 (B-C)	△ 6,433	△ 6,370	—	—

エ 医業外収益

医業外収益の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
医業外収益	1,246,650,082	1,216,938,206	29,711,876	2.4
受取利息及び配当金	6,639	6,828	△ 189	△ 2.8
他会計負担金	671,685,000	671,685,000	0	0.0
国庫補助金	2,257,000	1,710,000	547,000	32.0
都補助金	351,095,000	346,995,000	4,100,000	1.2
長期前受金戻入	117,858,671	125,009,095	△ 7,150,424	△ 5.7
その他医業外収益	103,747,772	71,532,283	32,215,489	45.0

医業外収益は12億4,665万82円で、前年度に対して2,971万1,876円(2.4%)増加している。これは主に、その他医業外収益が3,221万5,489円(45.0%)、都補助金が410万円(1.2%)増加したためである。一方、長期前受金戻入が715万424円(5.7%)減少している。

オ 医業外費用

医業外費用の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
医業外費用	274,013,446	294,357,134	△ 20,343,688	△ 6.9
支払利息及び 企業債取扱諸費	81,652,390	89,646,885	△ 7,994,495	△ 8.9
長期前払 消費税償却	17,625,917	31,655,008	△ 14,029,091	△ 44.3
雑損失	174,735,139	173,055,241	1,679,898	1.0
(消費税及び地方消 費税関係雑支出)	(174,735,139)	(173,055,241)	(1,679,898)	(1.0)

医業外費用は2億7,401万3,446円で、前年度に対して2,034万3,688円(6.9%)減少している。

カ 特別利益

特別利益の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
特別利益	6,971,137	7,139,871	△ 168,734	△ 2.4
過年度損益修正益	6,971,137	7,139,871	△ 168,734	△ 2.4
その他特別利益	0	0	0	0.0

特別利益は697万1,137円で、前年度に対して過年度損益修正益が16万8,734円(2.4%)減少している。

キ 特別損失

特別損失の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
特別損失	24,946,220	28,104,726	△ 3,158,506	△ 11.2
過年度損益修正損	23,096,220	24,504,726	△ 1,408,506	△ 5.7
看護師養成費	1,850,000	3,600,000	△ 1,750,000	△ 48.6
その他特別損失	0	0	0	0.0
固定資産売却損	0	0	0	0.0

特別損失は2,494万6,220円で、前年度に対して315万8,506円(11.2%)減少している。これは主に看護師養成費が175万円(48.6%)減少したためである。

2 財政状態

(1) 財政状態について

平成30年度の病院事業の財政状態は、別表2及び次表のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
資産	7,890,212,678	8,304,047,326	△ 413,834,648	△ 5.0
固定資産	5,825,841,512	6,103,215,757	△ 277,374,245	△ 4.5
流動資産	2,064,371,166	2,200,831,569	△ 136,460,403	△ 6.2
負債	5,010,212,721	5,498,547,097	△ 488,334,376	△ 8.9
固定負債	3,507,612,292	3,954,867,124	△ 447,254,832	△ 11.3
流動負債	1,375,899,537	1,402,249,410	△ 26,349,873	△ 1.9
繰延収益	126,700,892	141,430,563	△ 14,729,671	△ 10.4
資本	2,879,999,957	2,805,500,229	74,499,728	2.7
資本金	3,375,233,708	3,375,233,708	0	0.0
剰余金	△ 495,233,751	△ 569,733,479	74,499,728	13.1

資産は78億9,021万2,678円で、前年度に対して4億1,383万4,648円(5.0%)減少している。また、負債は50億1,021万2,721円で、前年度に対して4億8,833万4,376円(8.9%)減少している。

(2) 資産

ア 固定資産

固定資産の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
有形固定資産	5,583,317,332	5,863,463,082	△ 280,145,750	△ 4.8
土地	74,560,154	74,560,154	0	0.0
建物	4,586,958,002	4,751,798,659	△ 164,840,657	△ 3.5
構築物	1,489,812	1,878,288	△ 388,476	△ 20.7
器械及び備品	692,536,262	735,749,813	△ 43,213,551	△ 5.9
車両	3,328,523	358,842	2,969,681	827.6
リース資産	215,244,579	289,917,326	△ 74,672,747	△ 25.8
その他有形固定資産	9,200,000	9,200,000	0	0.0
建設仮勘定	0	0	0	0.0
無形固定資産	1,720,636	1,798,636	△ 78,000	△ 4.3
電話加入権	1,602,636	1,602,636	0	0.0
その他無形固定資産	118,000	196,000	△ 78,000	△ 39.8
投資その他の資産	240,803,544	237,954,039	2,849,505	1.2
奨学貸付金	15,300,000	12,450,000	2,850,000	22.9
長期前払消費税	225,503,544	225,504,039	△ 495	0.0
合計	5,825,841,512	6,103,215,757	△ 277,374,245	△ 4.5

固定資産は58億2,584万1,512円で、前年度に対して2億7,737万4,245円(4.5%)減少している。これは主に、建物が1億6,484万657円(3.5%)、リース資産が7,467万2,747円(25.8%)、器械及び備品が4,321万3,551円(5.9%)減少したためである。

イ 流動資産

流動資産の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
現金・預金	1,011,941,886	1,123,119,953	△ 111,178,067	△ 9.9
現金	7,278,380	6,335,050	943,330	14.9
預金	1,004,663,506	1,116,784,903	△ 112,121,397	△ 10.0
未収金	1,027,794,756	1,050,985,995	△ 23,191,239	△ 2.2
医業未収金	938,223,562	962,837,141	△ 24,613,579	△ 2.6
医業外未収金	90,492,636	86,307,542	4,185,094	4.8
その他未収金	4,700,558	6,869,919	△ 2,169,361	△ 31.6
貸倒引当金	△ 5,622,000	△ 5,028,607	△ 593,393	△ 11.8
貯蔵品	24,634,524	26,725,621	△ 2,091,097	△ 7.8
薬品	23,517,188	25,608,285	△ 2,091,097	△ 8.2
診療材料	0	0	0	0.0
給食材料	0	0	0	0.0
その他貯蔵品	1,117,336	1,117,336	0	0.0
合計	2,064,371,166	2,200,831,569	△ 136,460,403	△ 6.2

* 貸倒引当金については、合計時に減算されるため、マイナス表記としている。

流動資産は20億6,437万1,166円で、前年度に対して1億3,646万403円(6.2%)減少している。これは主に、預金が1億1,212万1,397円(10.0%)、医業未収金が2,461万3,579円(2.6%)減少したためである。一方、医業外未収金が418万5,094円(4.8%)増加している。

(3) 負債

ア 固定負債

固定負債の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
企業債	3,454,229,429	3,836,749,492	△ 382,520,063	△ 10.0
リース債務	53,382,863	118,117,632	△ 64,734,769	△ 54.8
合計	3,507,612,292	3,954,867,124	△ 447,254,832	△ 11.3

固定負債は35億761万2,292円で、前年度に対して4億4,725万4,832円(11.3%)減少している。これは、企業債が3億8,252万63円(10.0%)、リース債務が6,473万4,769円(54.8%)減少したためである。

イ 流動負債

流動負債の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
企業債	495,720,063	452,133,660	43,586,403	9.6
未払金	614,445,435	664,411,007	△ 49,965,572	△ 7.5
医業未払金	447,656,580	494,112,934	△ 46,456,354	△ 9.4
医業外未払金	98,014	227,856	△ 129,842	△ 57.0
その他未払金	158,242,341	162,026,717	△ 3,784,376	△ 2.3
未払消費税	8,448,500	8,043,500	405,000	5.0
前受金	2,279,990	2,114,990	165,000	7.8
引当金	184,851,000	180,941,000	3,910,000	2.2
リース債務	77,170,230	101,755,308	△ 24,585,078	△ 24.2
その他流動負債	1,432,819	893,445	539,374	60.4
合計	1,375,899,537	1,402,249,410	△ 26,349,873	△ 1.9

流動負債は13億7,589万9,537円で、前年度に対して2,634万9,873円(1.9%)減少している。これは主に、医業未払金が4,645万6,354円(9.4%)、リース債務が2,458万5,078円(24.2%)減少したためである。一方、企業債が4,358万6,403円(9.6%)、引当金が391万円(2.2%)増加している。

ウ 繰延収益

繰延収益の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
長期前受金	760,108,485	791,803,485	△ 31,695,000	△ 4.0
長期前受金 収益化累計額	△ 633,407,593	△ 650,372,922	16,965,329	2.6
合計	126,700,892	141,430,563	△ 14,729,671	△ 10.4

* 長期前受金収益化累計額については、合計時に減算されるため、マイナス表記としている。

繰延収益は1億2,670万892円で、前年度に対して1,472万9,671円(10.4%)減少している。

(4) 資本

ア 資本金

資本金の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
自己資本金	3,375,233,708	3,375,233,708	0	0.0
固有資本金	83,201,882	83,201,882	0	0.0
繰入資本金	476,933,000	476,933,000	0	0.0
組入資本金	2,815,098,826	2,815,098,826	0	0.0
借入資本金	0	0	0	0.0
合計	3,375,233,708	3,375,233,708	0	0.0

資本金は33億7,523万3,708円で、前年度に対して増減はない。

イ 剰余金

剰余金の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円，%)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
資本剰余金	9,200,000	9,200,000	0	0.0
受贈財産評価額	9,200,000	9,200,000	0	0.0
保険差益	0	0	0	0.0
補助金	0	0	0	0.0
補償料	0	0	0	0.0
利益剰余金	0	0	0	0.0
利益積立金	0	0	0	0.0
減債積立金	0	0	0	0.0
建設改良積立金	0	0	0	0.0
欠損金	△ 504,433,751	△ 578,933,479	74,499,728	12.9
当年度未処理欠損金	△ 504,433,751	△ 578,933,479	74,499,728	12.9
合計	△ 495,233,751	△ 569,733,479	74,499,728	13.1

* 当年度未処理欠損金については、合計時に減算されるため、マイナス表記としている。

資本剰余金は920万円で、前年度に対して増減はない。欠損金は5億443万3,751円で、前年度に対して7,449万9,728円(12.9%)減少(表の数値としては増加)している。合計額はマイナス4億9,523万3,751円で、前年度に対して7,449万9,728円(13.1%)増加している。

3 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の推移は次のとおりである。

なお、資本的収入支出については、補填の記載をするため、税込み表示とした。

(単位：円)

区分	30年度	29年度	28年度
資本的収入	217,579,000	248,639,000	228,158,800
資本的支出	718,645,904	704,990,124	739,714,313
差引不足額	△ 501,066,904	△ 456,351,124	△ 511,555,513

資本的収入は2億1,757万9,000円で、前年度に対して3,106万円(12.5%)減少し、また、資本的支出は7億1,864万5,904円で、前年度に対して1,365万5,780円(1.9%)増加している。

資本的収入が資本的支出に対して不足する額5億106万6,904円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,165万5,008円及び過年度分損益勘定留保資金4億6,941万1,896円で補填した。

(2) 資本的収入

資本的収入の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円, %)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
資本的収入	217,579,000	248,639,000	△ 31,060,000	△ 12.5
企業債	113,200,000	144,000,000	△ 30,800,000	△ 21.4
他会計負担金	30,000,000	30,000,000	0	0.0
奨学貸付返還金	1,250,000	1,900,000	△ 650,000	△ 34.2
都補助金	73,129,000	72,739,000	390,000	0.5
固定資産売却代金	0	0	0	0.0

資本的収入は2億1,757万9,000円で、前年度に対して3,106万円(12.5%)減少している。これは主に、企業債が3,080万円(21.4%)減少したためである。

(3) 資本的支出

資本的支出の内訳と推移は次のとおりである。

(単位：円, %)

科目	30年度	29年度	対前年度	
			増減額	増減率
資本的支出	718,645,904	704,990,124	13,655,780	1.9
企業債償還金	452,133,660	413,113,247	39,020,413	9.4
建設改良費	260,562,244	286,026,877	△ 25,464,633	△ 8.9
奨学貸付金	5,950,000	5,850,000	100,000	1.7

資本的支出は7億1,864万5,904円で、前年度に対して1,365万5,780円(1.9%)増加している。これは主に、企業債償還金が3,902万413円(9.4%)増加したためである。

第4 まとめ

以上が、平成30年度の稲城市病院事業会計決算について審査した概要である。

経営成績についてみると、純利益は7,449万9,728円で、総収支は前年度に対して8,787万3,860円（657.0%）改善している。

病院事業の収益的収入及び支出の大部分を占める医業収益と医業費用の面からみると、医業収益は58億9,772万3,376円で、前年度に対して3,094万3,288円（0.5%）増加している。また、医業費用は67億7,788万5,201円で、前年度に対して388万5,236円（0.1%）減少している。その結果、収支差引（医業収支）はマイナス8億8,016万1,825円となり、前年度に対して3,482万8,524円（3.8%）改善している。

次に、医業収益のうち、入院・外来の患者数と収益を前年度と比較すると、入院の患者数は2,492人（3.3%）減少し、収益は1,996万8,833円（0.6%）増加している。また、外来の患者数は3,299人（2.0%）減少し、収益も175万4,709円（0.1%）減少している。

一方、医業費用について前年度と比較すると、減価償却費が1億881万9,387円（20.4%）、材料費が3,447万5,733円（3.3%）、それぞれ減少し、給与費が6,997万4,088円（1.8%）、経費が6,815万1,431円（5.0%）増加している。

資本的収入及び支出をみると、資本的収入は2億1,757万9,000円で、前年度に対して3,106万円（12.5%）減少している。収入の内訳は、企業債が1億1,320万円、都補助金が7,312万9,000円、他会計負担金が3,000万円、奨学貸付返還金が125万円となっている。

一方、資本的支出は7億1,864万5,904円で、前年度に対して1,365万5,780円（1.9%）増加している。支出の内訳は、企業債償還金が4億5,213万3,660円、建設改良費が2億6,056万2,244円、奨学貸付金が595万円となっている。

また、資本的収入額が資本的支出額に不足する額5億106万6,904円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,165万5,008円と過年度分損益勘定留保資金4億6,941万1,896円で補填している。

以上、収益的収支と資本的収支についてみてきたが、収益的収入と収益的支出の差7,449万9,728円が純利益となり、前年度繰越欠損金の5億7,893万3,479円に純利益額を加えた当年度未処理欠損金は5億443万3,751円となっている。

経営面では、手術件数や人間ドック受診者の増加に伴い、前年度と比較すると収益額は増収となった。また、健診・外来棟の医療機器の減価償却が既に終了していることや、薬品などの材料費の支出を抑えることで、単年度収支は3年ぶりに黒字となった。経営安定化のため、引続き更なる工夫と努力を期待するものである。

平成30年度は産科病棟における産後ケア事業のスタートや入退院支援の充実が図られたが、今後も診療を受けやすい環境作りを目指していただきたい。

公立病院を取り巻く環境は厳しい状況が続いているが、多くの市民が期待する医療サービスの充実を図り、引続き経営の効率化・健全化に十分留意され、稲城市立病院の基本理念である「信頼とぬくもりのある医療」を実践し、地域の中核病院として、市民が安心して治療を受けられる更なる環境が醸成されることを望むものである。

別表1 病院事業比較損益計算書

(単位：円，%)

科目		平成30年度		平成29年度		対前年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
医業収益	入院収益	3,570,870,087	49.9	3,550,901,254	50.1	19,968,833	0.6
	外来収益	1,713,114,073	24.0	1,714,868,782	24.2	△ 1,754,709	△ 0.1
	その他医業収益	613,739,216	8.6	601,010,052	8.5	12,729,164	2.1
医業外収益	受取利息及び配当金	6,639	0.0	6,828	0.0	△ 189	△ 2.8
	他会計負担金	671,685,000	9.4	671,685,000	9.5	0	0.0
	国庫補助金	2,257,000	0.0	1,710,000	0.0	547,000	32.0
	都補助金	351,095,000	4.9	346,995,000	4.9	4,100,000	1.2
	長期前受金戻入	117,858,671	1.6	125,009,095	1.7	△ 7,150,424	△ 5.7
	その他医業外収益	103,747,772	1.5	71,532,283	1.0	32,215,489	45.0
特別利益	過年度損益修正益	6,971,137	0.1	7,139,871	0.1	△ 168,734	△ 2.4
	その他特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病院事業収益 (A)		7,151,344,595	100.0	7,090,858,165	100.0	60,486,430	0.9
医業費用	給与費	3,918,218,806	55.4	3,848,244,718	54.2	69,974,088	1.8
	材料費	997,799,220	14.1	1,032,274,953	14.5	△ 34,475,733	△ 3.3
	経費	1,418,363,577	20.0	1,350,212,146	19.0	68,151,431	5.0
	減価償却費	424,900,010	6.0	533,719,397	7.5	△ 108,819,387	△ 20.4
	資産減耗費	9,836,795	0.1	5,721,472	0.1	4,115,323	71.9
	研究研修費	8,766,793	0.1	11,597,751	0.2	△ 2,830,958	△ 24.4
医業外費用	支払利息及び 企業債取扱諸費	81,652,390	1.2	89,646,885	1.3	△ 7,994,495	△ 8.9
	長期前払消費税償却	17,625,917	0.3	31,655,008	0.4	△ 14,029,091	△ 44.3
	雑損失	174,735,139	2.5	173,055,241	2.4	1,679,898	1.0
特別損失	過年度損益修正損	23,096,220	0.3	24,504,726	0.3	△ 1,408,506	△ 5.7
	看護師養成費	1,850,000	0.0	3,600,000	0.1	△ 1,750,000	△ 48.6
	その他特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病院事業費用 (B)		7,076,844,867	100.0	7,104,232,297	100.0	△ 27,387,430	△ 0.4
当年度純利益 (A - B)		74,499,728	—	△ 13,374,132	—	87,873,860	657.0

別表2 病院事業比較貸借対照表

科目			平成30年度		平成29年度		対前年度		
			決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率	
資産の部	固定資産	有形	土地	74,560,154	0.9	74,560,154	0.9	0	0.0
		建物	4,586,958,002	58.2	4,751,798,659	57.2	△ 164,840,657	△ 3.5	
		構築物	1,489,812	0.0	1,878,288	0.0	△ 388,476	△ 20.7	
		器械及び備品	692,536,262	8.8	735,749,813	8.9	△ 43,213,551	△ 5.9	
		車両	3,328,523	0.0	358,842	0.0	2,969,681	827.6	
		リース資産	215,244,579	2.7	289,917,326	3.5	△ 74,672,747	△ 25.8	
		その他有形固定資産	9,200,000	0.1	9,200,000	0.1	0	0.0	
		建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	無形	電話加入権	1,602,636	0.0	1,602,636	0.0	0	0.0	
	その他無形固定資産	118,000	0.0	196,000	0.0	△ 78,000	△ 39.8		
	その他	奨学貸付金	15,300,000	0.2	12,450,000	0.2	2,850,000	22.9	
	長期前払消費税	225,503,544	2.9	225,504,039	2.7	△ 495	0.0		
	流動資産	現金	7,278,380	0.1	6,335,050	0.1	943,330	14.9	
		預金	1,004,663,506	12.7	1,116,784,903	13.5	△ 112,121,397	△ 10.0	
		未収金	医業未収金	938,223,562	11.9	962,837,141	11.6	△ 24,613,579	△ 2.6
			医業外未収金	90,492,636	1.2	86,307,542	1.0	4,185,094	4.8
その他未収金			4,700,558	0.1	6,869,919	0.1	△ 2,169,361	△ 31.6	
貸倒引当金			△ 5,622,000	△ 0.1	△ 5,028,607	△ 0.1	△ 593,393	△ 11.8	
貯蔵品		薬品	23,517,188	0.3	25,608,285	0.3	△ 2,091,097	△ 8.2	
		診療材料	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	給食材料	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	その他貯蔵品	1,117,336	0.0	1,117,336	0.0	0	0.0		
資産合計			7,890,212,678	100.0	8,304,047,326	100.0	△ 413,834,648	△ 5.0	

* 貸倒引当金については、合計時に減算されるため、マイナス表記としている。

(単位：円，%)

科目		平成30年度		平成29年度		対前年度			
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率		
負債の部	固定負債	建設改良等の財源に充てるための企業債	3,454,229,429	43.8	3,836,749,492	46.2	△ 382,520,063	△ 10.0	
		長期リース債務	53,382,863	0.7	118,117,632	1.4	△ 64,734,769	△ 54.8	
	流動負債	建設改良等の財源に充てるための企業債	495,720,063	6.3	452,133,660	5.5	43,586,403	9.6	
		未払金	医業未払金	447,656,580	5.7	494,112,934	6.0	△ 46,456,354	△ 9.4
			医業外未払金	98,014	0.0	227,856	0.0	△ 129,842	△ 57.0
			その他未払金	158,242,341	2.0	162,026,717	2.0	△ 3,784,376	△ 2.3
			未払消費税	8,448,500	0.1	8,043,500	0.1	405,000	5.0
		医業前受金	2,279,990	0.0	2,114,990	0.0	165,000	7.8	
		賞与引当金	184,851,000	2.3	180,941,000	2.2	3,910,000	2.2	
		短期リース債務	77,170,230	1.0	101,755,308	1.2	△ 24,585,078	△ 24.2	
		その他流動負債	1,432,819	0.0	893,445	0.0	539,374	60.4	
	繰延収益	長期前受金	760,108,485	9.6	791,803,485	9.5	△ 31,695,000	△ 4.0	
		長期前受金収益化累計額	△ 633,407,593	△ 8.0	△ 650,372,922	△ 7.8	16,965,329	2.6	
	負債合計		5,010,212,721	63.5	5,498,547,097	66.3	△ 488,334,376	△ 8.9	
	資本の部	資本金	固有資本金	83,201,882	1.1	83,201,882	1.0	0	0.0
繰入資本金			476,933,000	6.0	476,933,000	5.7	0	0.0	
組入資本金			2,815,098,826	35.7	2,815,098,826	33.9	0	0.0	
借入資本金			0	0.0	0	0.0	0	0.0	
剰余金		資本剰余金	受贈財産評価額	9,200,000	0.1	9,200,000	0.1	0	0.0
			保険差益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		利益剰余金	補償料	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			利益積立金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			減債積立金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			建設改良積立金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
当年度未処理欠損金		△ 504,433,751	△ 6.4	△ 578,933,479	△ 7.0	74,499,728	12.9		
資本合計		2,879,999,957	36.5	2,805,500,229	33.7	74,499,728	2.7		
負債・資本合計		7,890,212,678	100.0	8,304,047,326	100.0	△ 413,834,648	△ 5.0		

* 長期前受金収益化累計額 及び 当年度未処理欠損金については、合計時に減算されるため、マイナス表記としている。

別表3 診療科別収益・患者数比較表

区分・診療科		平成30年度					
		収益		延患者数		患者1人	1日平均
		(A)	構成比	(B)	構成比	1日当たり 診療収入 (A/B)	患者数 (入院：B/E) (外来：B/F)
入院	内科	1,160,588,185	32.5	31,537	43.4	36,801	86.4
	眼科	43,852,850	1.3	469	0.7	93,503	1.3
	小児科	192,986,672	5.4	4,994	6.9	38,644	13.7
	外科	667,900,416	18.7	10,760	14.8	62,073	29.5
	整形外科	499,751,147	14.0	8,911	12.3	56,082	24.4
	リハビリテーション科	55,068,838	1.5	0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	71,969,553	2.0	1,661	2.3	43,329	4.6
	皮膚科	47,783,070	1.3	1,316	1.8	36,309	3.6
	泌尿器科	190,962,914	5.4	3,799	5.2	50,267	10.4
	産婦人科	582,681,228	16.3	8,045	11.1	72,428	22.0
	脳神経外科	57,325,214	1.6	1,108	1.5	51,738	3.0
	合計	3,570,870,087	100.0	72,600	100.0	49,186	198.9
外来	内科	611,892,292	35.7	54,862	34.4	11,153	224.8
	眼科	87,825,515	5.1	7,425	4.7	11,828	30.4
	小児科	110,468,444	6.5	10,483	6.6	10,538	43.0
	外科	215,454,208	12.6	10,774	6.7	19,998	44.2
	整形外科	149,054,914	8.7	17,075	10.7	8,729	70.0
	リハビリテーション科	20,277,548	1.2	3,795	2.4	5,343	15.6
	耳鼻咽喉科	93,936,383	5.5	12,237	7.7	7,676	50.2
	皮膚科	56,963,589	3.3	10,814	6.8	5,268	44.3
	泌尿器科	154,341,808	9.0	13,713	8.6	11,255	56.2
	産婦人科	141,092,867	8.2	10,296	6.4	13,704	42.2
	脳神経外科	27,363,297	1.6	2,779	1.7	9,846	11.4
	放射線科	29,582,751	1.7	2,348	1.5	12,599	9.6
	精神科	3,606,156	0.2	695	0.4	5,189	2.7
	坂浜診療所	11,254,301	0.7	2,307	1.4	4,878	9.5
合計	1,713,114,073	100.0	159,603	100.0	10,734	654.1	
入院診療日数 (E)	365 日						
外来診療日数 (F)	244 日						

* リハビリテーション科入院収益には、他科入院者のリハビリテーション料を含む。

(単位：円，人，%)

平成29年度					
収益 (C)	構成比	延患者数		患者1人 1日当たり 診療収入 (C/D)	1日平均 患者数 (入院：D/E) (外来：D/F)
		(D)	構成比		
1,165,060,247	32.8	33,392	44.5	34,890	91.5
42,801,255	1.2	400	0.5	107,003	1.1
193,533,833	5.4	5,338	7.1	36,256	14.6
650,969,237	18.3	10,963	14.6	59,379	30.0
500,193,887	14.1	9,872	13.2	50,668	27.0
67,046,259	1.9	0	0.0	0	0.0
66,605,213	1.9	1,448	1.9	45,998	4.0
46,054,505	1.3	1,343	1.8	34,292	3.7
187,677,030	5.3	3,377	4.5	55,575	9.3
557,402,788	15.7	7,837	10.4	71,125	21.5
73,557,000	2.1	1,122	1.5	65,559	3.1
3,550,901,254	100.0	75,092	100.0	47,287	205.7
610,120,081	35.6	55,557	34.1	10,982	227.7
70,984,682	4.1	6,948	4.3	10,217	28.5
105,256,353	6.1	10,311	6.3	10,208	42.3
206,553,373	12.0	10,725	6.6	19,259	44.0
166,298,415	9.7	19,482	11.9	8,536	79.8
20,413,441	1.2	3,646	2.2	5,599	14.9
96,196,041	5.6	12,121	7.4	7,936	49.7
65,043,184	3.8	11,426	7.0	5,693	46.8
154,596,826	9.0	13,656	8.4	11,321	56.0
138,328,071	8.1	9,891	6.1	13,985	40.5
33,375,538	2.0	3,242	2.0	10,295	13.3
31,601,992	1.8	2,556	1.6	12,364	10.5
2,926,802	0.2	596	0.4	4,911	2.4
13,173,983	0.8	2,745	1.7	4,799	11.3
1,714,868,782	100.0	162,902	100.0	10,527	667.6
365 日					
244 日					

別表4 経営分析比較表

区分			単位	平成30年度	平成29年度	対前年度		
						増減数	増減率	
病床利用率			%	68.6	70.9	△ 2.3	—	
患者数	1日平均患者数	入院	人	198.9	205.7	△ 6.8	△ 3.3	
		外来	人	654.1	667.6	△ 13.5	△ 2.0	
	外来入院患者比率		%	219.8	216.9	2.9	—	
	職員1人 1日当たり 患者数	医師	入院	人	2.7	2.9	△ 0.2	△ 6.9
			外来	人	5.9	6.3	△ 0.4	△ 6.3
		看護部門 職員	入院	人	0.8	0.9	△ 0.1	△ 11.1
外来			人	1.9	1.9	0.0	0.0	
収入	患者1人 1日当たり 診療収入	入院収入	円	49,185.5	47,287.3	1,898.2	4.0	
		外来収入	円	10,733.6	10,527.0	206.6	2.0	
	職員1人 1日当たり 診療収入	医師	円	194,578.9	203,476.6	△ 8,897.7	△ 4.4	
		看護部門職員	円	61,705.7	61,934.9	△ 229.2	△ 0.4	
費用	患者1人 1日当たり 薬品費	投薬	円	179.7	185.6	△ 5.9	△ 3.2	
		注射	円	1,485.5	1,528.2	△ 42.7	△ 2.8	
		計	円	2,320.7	2,366.8	△ 46.1	△ 1.9	
	入院患者1人1食当たり給食材料費		円	312.0	339.5	△ 27.5	△ 8.1	
対診療収入比	投薬注射収入		%	5.1	5.3	△ 0.2	—	
	検査収入		%	11.2	11.0	0.2	—	
	放射線収入		%	6.0	5.9	0.1	—	
対医業収益比	医療材料費	薬品費	%	9.1	9.6	△ 0.5	—	
		その他医療材料費	%	7.8	8.0	△ 0.2	—	
		計	%	16.9	17.6	△ 0.7	—	
	職員給与費		%	66.4 (63.5)	65.6 (62.7)	0.8 (0.8)	— (—)	
検査等の状況	患者 100人当たり	検査件数	件	536	519	17	3.3	
		放射線件数	件	28	27	1	3.7	
	検査技師 1人当たり	検査件数	件	44,018	45,104	△ 1,086	△ 2.4	
		検査収入	千円	20,850	21,213	△ 363	△ 1.7	
	放射線技師 1人当たり	放射線件数	件	3,689	4,130	△ 441	△ 10.7	
		放射線収入	千円	18,097	19,998	△ 1,901	△ 9.5	
室料差額	入院収益に対する室料差額収入の割合		%	3.2	3.3	△ 0.1	—	
	総収益に対する室料差額収入の割合		%	1.6	1.7	△ 0.1	—	
	室料差額対象病床数対総病床割合		%	24.8	24.8	0.0	—	
病床百床当たり職員数	医師		人	25.7	24.6	1.1	4.5	
	看護部門職員		人	94.5	92.3	2.2	2.4	
	薬剤部門職員		人	5.5	5.3	0.2	3.8	
	事務部門職員		人	15.0	13.9	1.1	7.9	
	給食部門職員		人	1.7	1.7	0.0	0.0	
	医療技術職員		人	22.4	22.7	△ 0.3	△ 1.3	
	その他職員		人	5.7	5.9	△ 0.2	△ 3.4	
	全職員		人	170.5	166.4	4.1	2.5	

* 類似病院の数値は、平成29年度地方公営企業年鑑における経営規模別区分、
 * 職員給与費欄の（ ）内の数値は、医業収益に救急病院、保健衛生行政に対する

類似病院		算式
黒字	赤字	
77.5	71.5	延入院患者数／延総病床数×100
191	174	延入院患者数／診療実日数
381	421	延外来患者数／診療実日数
137.8	167.3	延外来患者数／延入院患者数×100
5.8	5.7	延入院患者数／延医師数
8.0	9.6	延外来患者数／延医師数
1.0	1.0	延入院患者数／延看護部門職員数
1.4	1.6	延外来患者数／延看護部門職員数
38,906	37,622	入院収益／延入院患者数
11,262	10,187	外来収益／延外来患者数
316,937	313,913	入院外来収益／延医師数
56,772	53,820	入院外来収益／延看護部門職員数
531	492	投薬薬品費／延総患者数
1,952	1,723	注射薬品費／延総患者数
2,484	2,214	薬品費／延総患者数
—	—	給食材料費／延給食数
10.2	10.9	投薬注射収入／入院外来収益×100
8.5	8.6	検査収入／入院外来収益×100
4.7	4.8	放射線収入／入院外来収益×100
10.0	9.9	薬品費／医業収益×100
8.4	9.6	その他医療材料費／医業収益×100
18.4	19.5	医療材料費／医業収益×100
57.7	59.9	職員給与費／医業収益×100
515.8	418.8	検査件数／延総患者数×100
24.4	20.5	放射線件数／延総患者数×100
82,400	72,509	検査件数／年度末臨床検査技師数
31,126	30,507	検査収入／年度末臨床検査技師数
5,313	4,272	放射線件数／年度末診療放射線技師数
23,543	20,508	放射線収入／年度末診療放射線技師数
1.5	1.6	室料差額収入／入院収益×100
0.8	0.8	室料差額収入／総収益×100
17.7	15.0	室料差額対象病床数／総病床数×100
12.8	12.3	年度末医師数／年度末病床数×100
76.8	72.4	年度末看護部門職員数／年度末病床数×100
3.3	3.4	年度末薬剤部門職員数／年度末病床数×100
14.1	12.3	年度末事務部門職員数／年度末病床数×100
2.4	2.6	年度末給食部門職員数／年度末病床数×100
—	—	年度末医療技術職員数／年度末病床数×100
—	—	年度末その他職員数／年度末病床数×100
128.7	122.7	年度末全職員数／年度末病床数×100

一般病院の「200床以上300床未満」の数値を掲載している。
一般会計負担金が含まれている。